

2023

# 知の玉手箱

学生向け図書案内誌



久留米大学 御井図書館 発行

# 紙上のブラウジングを、 ぜひ。

『知の玉手箱 2023』編集委員  
久留米大学 文学部

玉岡 兼治



みなさんは図書館に行って何の目的もなく書架の間を歩いて、書架の資料を眺めることができるだろうか。もしくは本屋さんへ行って、何の目的もなく書架の間を歩いているいろいろな本や雑誌を眺めることができるだろうか。

データベースによる検索では、ピンポイントで自分の求めたい本は探せるが、「思いもかけなかった本」に出会うことはできない。実はこのように本を探す目的もなく書架の間をただづらづら歩きながら本を眺めることを図書館学では「ブラウジング」と呼ぶ。今やIT用語になってしまった感のある「ブラウザ」だが、これはそもそも図書館学で「閲覧」の意味であり、「ブラウジング」はそこから出た言葉である。ブラウジングを行う中で「こんな本があったのか」「あ、この本はおもしろそう」「装丁のきれいな本だなあ」等々のさまざまな発見が、新たな知への刺激となる。実はこうしたブラウジングの効用が近年再評価されはじめているのである。

学生のみなさんは日々の学習、サークル活動、アルバイト、友達とのつきあい、となかなか忙しく、図書館へ行って何の目的もなくただづらづらと書架の間を見てまわる、という時間が取りにくいかもしれない。もしくは図書館に行くこと自体、苦手という人もいるかもしれない。

私はそんな人たちにこそ、この「知の玉手箱」を拡げて欲しいと思う。この小冊子には、さまざまな人からのお勧めの本が寄せられている。この小冊子を通して紙上のブラウジングを行っていただきたい。これをきっかけに「今まで知らなかった本」との出会いや、「未知の世界」との出会いが生まれるだろう。きっかけができれば、その本を実際に手にするために、ぜひ図書館へ行って欲しい。文字通り万巻の書がみなさんとの出会いを待っている。

最後に。今回の「知の玉手箱2023」には学生のみなさんから、81編の応募があった。読書を、そして文章執筆を身近なものとするため、ゼミで本誌への投稿を課題として取り組んでくださったところもある。原稿の採否については、ただ単に本を薦める、ということだけではなく、その人がその本を読むことでどのような気づきがあったのか。そして、読む前と読んだ後では自分の気持ちや行動にどのような変化が生じたのか、という個人的体験が表現されている文章を採った。残念ながら雑誌の総ページ数の関係で掲載できなかった原稿も多い。不採用になった皆さんには申し訳なく思う。原稿を寄せてくれたみなさん。編集でお世話になった御井図書館のみなさん。こうした方々のおかげでこの冊子ができあがった。改めてお礼申し上げます。

# CONTENTS

◇『知の玉手箱 2023』発行にあたって

## 学び

P.3~

- 01◆ **なんだろうなんだろう/ヨシタケ シンスケ** 著  
…森本 帆乃夏(文学部学生)
- 02◆ **身体・資本・ナショナリズム/多木 浩二** 著  
…北野 正真(人間健康学部学生)
- 03◆ **スポーツドクター/松樹 剛史** 著  
…甲斐 美玲(人間健康学部学生)
- 04◆ **筋トレの科学/オースティン・カレント** 著  
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)
- 05◆ **メンタル強化メソッド50/浮世 満理子** 著  
…福島 昌輝(文学部学生)
- 06◆ **テニス・メンタル必勝法**  
/R・ナデファ、R・フェアバンク 著  
…持永 航汰(人間健康学部学生)
- 07◆ **コーチングの技術/菅原 裕子** 著  
…柴田 真武(法学部学生)
- 08◆ **骨格筋肥大のサイエンスとトレーニングへの応用**  
/Brad Schoenfeld 著  
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)
- 09◆ **学び続ける力/池上 彰** 著  
…井上 征弥(法学部学生)
- 10◆ **仕事は楽しいかね?/ディルドーテン** 著  
…高岡 有咲(文学部学生)
- 11◆ **数学の大統一に挑む/エドワード・フレンケル** 著  
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)
- 12◆ **科学者たちが語る食欲/David Raubenheimer** 著  
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)

## 生き方

P.9~

- 13◆ **面白いとは何か? 面白く生きるには?**  
/森 博嗣 著  
…行實 鉄平(人間健康学部教員)
- 14◆ **一汁一菜でよいという提案/土井 善晴** 著  
…富吉 満之(経済学部教員)
- 15◆ **君の臓腑をたべたい/住野 よる** 著  
…小原 崇靖(人間健康学部学生)
- 16◆ **余命10年/小坂 流加** 著  
…庄山 聖夏(文学部学生)
- 17◆ **逆ソクラテス/伊坂 幸太郎** 著  
…野田 耕(人間健康学部教員)
- 18◆ **人生教習所/垣根 涼介** 著  
…河内 千栄子(法学部教員)
- 19◆ **名前のない母子をみつめて/蓮田 太二、柏木 恭典** 著  
…田中 くみ子(法学部学生)
- 20◆ **采配/落合 博満** 著  
…藤本 晃(人間健康学部学生)

- 21◆ **不登校の子どもに何が必要か/増田 健太郎** 著  
…森 友花(人間健康学部学生)
- 22◆ **MINAMATA/W. コージン・スミス** 著  
…辻本 尚弥(人間健康学部教員)
- 23◆ **ありえないほどうるさいオルゴール店**  
/瀧羽 麻子 著  
…森 遥(文学部学生)
- 24◆ **君の臓腑をたべたい/住野 よる** 著  
…宮田 千浩(文学部学生)
- 25◆ **ある男/平野 啓一郎** 著  
…河内 千栄子(法学部教員)

## 異世界

P.15~

- 26◆ **風になった名犬チロリ/大木 トオル** 著  
…葛谷 優菜(人間健康学部学生)
- 27◆ **スイッチを押すとき/山田 悠介** 著  
…西山 晃史(人間健康学部学生)
- 28◆ **スマホを落とすだけなのに/志藤 晃** 著  
…濱下 碧斗(人間健康学部学生)

## 心の旅

P.17~

- 29◆ **きょうりゅうが学校にやってきた**  
/アン・フォーサイス 作/熊谷 鉦司 訳  
…高橋 明日香(人間健康学部学生)
- 30◆ **劇場/又吉 直樹** 著  
…佐藤 史弥(文学部学生)
- 31◆ **コンビニ人間/村田 沙耶香** 著  
…鍋島 竜馬(経済学部学生)
- 32◆ **Berlin Express/Michael Austen** 著  
…河内 千栄子(法学部教員)
- 33◆ **(新編)日本古典文学全集 11)古今和歌集**  
/紀貫之他撰 著/小沢 正夫、松田 成穂 校注・訳  
…森元 蓮太(文学部学生)
- 34◆ **日本の大和言葉を美しく話す/高橋 こうじ** 著  
…寺中 琴音(文学部学生)
- 35◆ **明け方の若者たち/カセツ マサヒコ** 著  
…岩尾 日菜子(文学部学生)
- 36◆ **ノルウェイの森(上)(下)/村上 春樹** 著  
…佐々木 りん(法学部学生)
- 37◆ **猫のお告げは樹の下で/青山 美智子** 著  
…海崎 樹(文学部学生)
- 38◆ **そして、パトンは渡された/瀬尾 まいこ** 著  
…松隈 あずさ(文学部学生)
- 39◆ **きみの声を聞かせて/小手鞠 るい** 著  
…松藤 優翔(文学部学生)
- 40◆ **青が散る(上)(下)/宮本 輝** 著  
…河内 千栄子(法学部教員)

## ■ なんだろうなんだろう。なんだろうってなんだろう…

森本 帆乃夏 (文学部学生)

### なんだろうなんだろう

ヨシタケ シンスケ 著  
光村図書

¥1,500円 (税別)

お母さんに見送られ、学校へ向かう男の子。通学中、ご近所さんに会い、たわいもない会話を  
して別々の道へ。1人で歩いていると、「がっこう」ってなんだろう。「たのしい」って、「うそ」っ  
てなんだろうと、たくさんのなんだろうが浮かんできた。男の子は、なんだろうなんだろうと、  
自分なりに考えてみる。そのなんだろうなんだろうは、女の子、おじいさん、悩める若者にまで  
広がって…

この本は、平成31年度版の小・中学校の道徳の教科書に掲載されたものに、書き下ろしを加  
えた本です。小中学生はもちろん、大人も考えさせられる内容です。

作者のヨシタケシンスケさんは、2013年「りんごかもしれない」でデビューすると、これま  
で7度にわたり、絵本屋さん大賞1位に輝いています。

あなたは、「がっこう」って何だと思いますか？「たのしい」って、「うそ」って何だと思いま  
すか？この本はそんななんだろうのヒントが載っています。読んだら、きっと自分なりの答え  
を、なんだろうなんだろうと考えてしまうと思います。絵本なのでとても読みやすいです。ぜ  
ひ読んで、考えてみてはいかがでしょうか。

## ■ 感じるな。考える。

北野 正真 (人間健康学部学生)

### スポーツを考える — 身体・資本・ナショナリズム

多木 浩二 著  
筑摩書房

¥780円 (税別)

私は、スポーツをする身として、スポーツそのものについて、多くの疑問を持つことが最近  
になって増えてきた。そんな中で一冊の本に巡り合った。多木浩二さんのスポーツを考える、  
という本だ。

この本は、過去のスポーツに関する出来事やこれからのスポーツの在り方、理想が書かれて  
いる。その中でも、私が注目したのは、スポーツが生み出された時の社会についてだ。

歴史の中で、政治、及び革命が暴力によらずして議会制度によって遂行されることと、身体  
の競争がルールによって非暴力化されたスポーツになる相関性をノベルト・エリアスは発見  
していたのだという。私は、この考えについて当時のことを考えると非暴力化された競争をす  
ることが正当化され世に広まったところで国家間同士の競争になった時果たしてそれがス  
ポーツとしての効果を成していたのか…

この本は、読めば読むほど疑問が出てくるが、その分スポーツについて深く知ることができ  
る。そして考えさせられる。書名の通りだ。理想は理想であり、必ずそうなるとは限らない。だか  
らこそ、スポーツを知り、考えることができるこの本をたくさんの人に読んでほしいと思う。

## スポーツ現場における問題

甲斐 美玲 (人間健康学部学生)

### スポーツドクター

松樹 剛史 著  
集英社

¥1,700円 (税別)

スポーツをしているとさまざまな問題に出会うことがある。この物語には、バスケットボール部に所属している主人公の夏樹が、膝の怪我をきっかけにスポーツドクターである靱矢先生に出会うところから始まる。夏樹は靱矢先生に出会ったことをきっかけに、野球肘の少年や摂食障害の水泳選手、ドーピング疑惑の水泳選手など様々なアスリートに出会うことになる。どの選手も、身体だけの問題に加えて心の面にも問題を抱えてしまい、思うようにスポーツをすることができなくなっている。そして、スポーツドクターがそんな選手たちに寄り添い、心の面から手厚くサポートする様子が書かれている。

私は、スポーツをする人を支える側として選手とのかかわり方についてこの本を通して学ぶことができたと思う。私自身スポーツをしているため、とても共感できることが多く、スポーツが好きな人や将来スポーツ選手のケアをしてみたいと思っている人にぜひ読んでみてほしい。

## 筋力トレーニングの基本を学ぶ

辻本 尚弥 (人間健康学部教員)

### 筋トレの科学

オースティン・カレント 著  
西東社

¥3,190円 (税別)

本書は筋力トレーニングについて書かれた2021年出版の「SCIENCE of STRENGTH TRAINING」の訳書である。内容は、人体の生理学としての骨格筋の生理学的な基礎と、レジスタンストレーニングの特徴、怪我の予防やトレーニング実践としてのプログラムについて示されている。人体と筋肉の生理学的な基礎については、カラフルなイラストを使い簡潔にまとめられている。本書の特徴は、ハイクオリティなCGビジュアルを使用し、個々のレジスタンストレーニングについて、その特徴や使われている筋肉、よくある不適切な動作などについてわかりやすくまとめていることである。さらに、使われている筋肉については「短縮」「緊張をしながら伸長」「緊張させず伸長」「動かさず保つ」と4種類に色分けをして、使われている筋肉の役割を表示しており、一目瞭然である。巻末には適切な参考文献もまとめられている。研究者が「筋力トレーニング」をビジュアルでわかりやすく伝えるためにまとめた一般向け書籍である。筋力トレーニングに興味がある人は、是非読んでみてください。

## 本物のリーダーになるために

福島 昌輝 (文学部学生)

### メンタル強化メソッド50： チームを120%強くする！

浮世 満理子 著  
実業之日本社

¥1,300円 (税別)

現代社会では、進んでリーダーを引き受けようとする人は減少傾向にある。令和の時代にリーダーは必要なのだろうか。そのような疑問から私はこの本を選んだ。

この本は、全体をまとめ、社会で通用するような強いメンタルを育成したいと考えている人にとってお勧めできる本である。部活動や会社では、リーダーが存在する。リーダーとは周りに影響力がある存在や、メンタルが強い人物が任されるイメージがあるだろう。

しかしこの本では、メンタルが強くなくてもリーダーになれるとしている。リーダーの昭和と令和での立ち位置の違いや、リーダーになるために身につけるべき力を例に挙げながら書かれている。

私はこの本を読んでみて、日々の生活でのリーダーの重要性を感じる一冊だった。状況に応じて、自分の力を発揮するすべを学びリーダーとメンタルの関係性が身近なものであると感じた。そして、今の時代に自らリーダーを志願してくれる人が増えればと思った。

## 試合で力を十分に発揮したい人に、

持永 航汰 (人間健康学部学生)

### テニス・メンタル必勝法

R・ナデファ、R・フェアバンク 著  
大修館書店

¥1,500円 (税別)

スポーツをしていて、試合で自分の力を十分に発揮できないことはありませんか？テニスをしている人にはわかると思いますが、テニスはメンタルがとても関係している競技です。身体的スキルが備わっていても、心理的スキルが備わっていなければ、安定した強い選手にはなれません。練習ではできていたことが、試合ではできないことがあると思います。“なぜできなくなるのか?!”それは強いメンタルが備わっていないからです。本書では、トップ・プロテニスプレーヤーを対照とした研究の成果が示されており、試合中における集中やメンタル維持の方法、メンタル・トレーニングのプログラムなどが例示してあります。

現在、私はソフトテニスをしていますが、硬式テニスと通ずるものがあり、自身のプレーに役立てることができる内容がいくつもありました。テニスをしていてもう一步腕を上げたい選手やテニスが好きな人にはとてもお勧めできる一冊となっています。ぜひ読んでみてください。

## 人は才能を発揮するために生まれてきた

柴田 真武 (法学部学生)

### コーチングの技術

菅原 裕子 著  
講談社

¥740円 (税別)

皆さんはコーチングと聞いてどのような光景を想像するでしょうか？私自身この本を読むまではなんだか偉そうな人が誰かに物事を教える光景をスポーツなどに付属してイメージをしていました。しかしこの本を読むとコーチングというものが技術ではなくこれからの世の中において必要とされる考え方であることが分かりました。コーチングを理解していくことで集団での成長や個人での成長も見込めるようになると考えられます。コーチングは指導の場面において一方的に相手に教えこむのではなく、共に考え相手の可能性を引き出す方法として紹介されています。

この本を読む時は今までのコーチングの固定観念を外し、コーチングとはこれからの時代の中で学ばなければならないひとつの学問というふうに捉えて読むと全貌がつかみやすいかもしれません。

## 筋肥大を科学する

辻本 尚弥 (人間健康学部教員)

### 骨格筋肥大のサイエンスとトレーニングへの応用

Brad Schoenfeld 著  
ナッパ

¥5,940円 (税別)

本書は骨格筋の肥大に焦点を絞って、Brad Schoenfeldによって書かれた2020年出版の「Science and Development of Muscle Hypertrophy」の訳書である。2020年の出版から間をおかずに翻訳されたものである。内容は、骨格筋肥大の基礎的なメカニズムや測定方法だけでなく、レジスタンストレーニングの各種変数について、その肥大に対する影響などが示されている。さらに有酸素的トレーニングとの関わりや実際にレジスタンストレーニングを実践する際の科学的基礎、トレーニングのプログラムデザインや栄養との関わりについても書かれている。骨格筋の研究においてBrad Schoenfeldはメタアナリシスの手法を中心に多くの総説や原著論文を書いており、骨格筋肥大の視点から全体を見通してまとめることに適した人物である。一線でアクティブに活躍する研究者が、これまでの多くの知見と成果を「筋の肥大」に注目してまとめた一般向けの専門書である。運動やトレーニングに関わるあるいは興味がある人は、一度手に取って読んでみてください。

## 教養を持つということは「よりよく生きること」

井上 征弥(法学部学生)

### 学び続ける力

池上 彰 著  
講談社

¥840円(税別)

頭が良くなりたい。そう思ったことは誰でも一度はあるはず。しかし、ただ知識を豊富に有する。創造力がある。論理力があるだけの人は、周囲の評価もイマイチなことはありませんか？そのどれもが姿勢に偏りがあるからです。いくら専門知識を持っていようと、一般常識に当てはめてアウトプットが出来なければ、社会的に評価は半減します。知識の集積方法が、正しくなければ、自分にとっても、社会的な評価にとってもマイナスです。知識を活かす経験と方法を知らなければ、ただの持ち腐れです。

本来なら、私たちが小学中学で身につけているはずの力ですが、自分の学習に対して、きちんと考えを巡らせないがために、未だ身につけられていないのです。私たちは一般教養というものについて、今一度考えてみるべきなのかもしれません。

本書は元ジャーナリストの池上彰さんが自らの体験談から、謙虚さと批判力という、真反対のようで、実は学びにおいて重要な、「受けとりかた」について主に語っています。もちろん、社会的な評価や一般教養ばかりを気にするのも良い学びと言えません。私自身、勉強にそこまで考えを持っていたわけでもなく、単調に覚えるだけの作業のように思っていました。よって学び続けることというのは面倒事として分類してました。ですが、本書を読んで今一度自身の学びの意味について考えてみると自分は勉強に対して斜に構えていることがわかり、その姿勢を変えようと思いました。今一度自分が学ぶ意味とその姿勢について考え直してみませんか？そこにはおそらく、何らかの形で自分と社会につながりがあるはず。池上彰さんの豊富な経験談には、自分と比較するヒントがたくさん詰まっています。学びの姿勢について考えるきっかけにおすすめの一冊です。

## 何気ない挑戦こそ新しいアイデアのヒントになる

高岡 有咲(文学部学生)

### 仕事は楽しいかね？

デイル・ドーテン 著  
きこ書房

¥1,300円(税別)

本書は、将来への希望もなく日々仕事に追われる主人公が、老人のアドバイスに自己変革のアイデアを見いだしていく様子を描くビジネス書である。

悪天候のため閉鎖された空港で一晩過ごすことになった主人公は、とある老人に「仕事は楽しいかね？」と質問される。なんとこの老人は、発明家・起業家として成功した人物だったのだ。老人は特別講話として、世界的ヒット商品の誕生秘話などの具体的な例をあげながら、新しいアイデアを生み出すコツや成功をつかむ秘訣を教えてくれる。

私が特に心に残ったアドバイスは「明日は今日と違う自分になる」である。毎日何かを変えることは難しい。だからこそ、どんなに些細なことでも試すことが重要となり、日常の些細な変化から新しいアイデアへとつながることを学んだ。

他にもビジネスだけでなく、日常生活でもすぐに実践できるアドバイスが多くある。本書を読み、大学生活でも多くのことに挑戦し、新しいアイデアとなるヒントを見つけてほしい。



## ❖ 学問の根底には「愛」が確かに存在している

辻本 尚弥 (人間健康学部教員)

### 数学の大統一に挑む

エドワード・フレンケル 著  
文藝春秋

¥2,420円 (税別)

本書は、ソ連(現ロシア)生まれの数学者 エドワード・フレンケルによって書かれた「Love and Math - The Heart of Hidden Reality」の訳書である(原題には「愛」が入っている)。本書の大きく二つの内容からなる。ひとつは数学者の自伝的部分で、もうひとつはラングランズプログラム(予想)である。前者には、理不尽なユダヤ人差別に会い打ちのめされながらも、多くの数学者の助けで成長していく過程が書かれている。後者については、「数学の知識を持たない一般の読者が理解できる言葉で語る」という野心(著者曰く)を持って書かれている。数学の専門家でもない私にとっては、現代数学についての部分は正直1/3ほども理解できなかった。けれど、著者の数学にかける熱量(愛)がそのまま伝わってきて、「よくわからないが、凄い」と興奮し読み進められた。本書では呪文のような専門の言葉が多く出てくる。大学レベルの数学を学んでいないと理解するのが難しいと思う。しかし、是非一度手に取って自叙伝的部分だけでも読んでみてください。数学者の仕事は「こんなに面白い」ということが感じられます。

## ❖ 「食欲」を科学として分析すれば…

辻本 尚弥 (人間健康学部教員)

### 科学者たちが語る食欲

David Raubenheimer 著  
サンマーク出版

¥1,600円 (税別)

本書はオーストラリアの二人の生物学者、ローベンハイマーとシンプソンにより一般読者向けに書かれた2020年出版の「Eat Like The Animals: What Nature Teaches Us About the Science of Healthy Eating」の訳書である。二人は、「生物は何を食べるべきか、どうやって知るのだろうか」というシンプルかつ難しい疑問を、実験やフィールド調査により明らかにしようと研究を続けている。本書では、それらの科学的な知見をもとに、食欲におけるタンパク質の重要性(タンパク質レバレッジ説)を説明している。一般向けなので、実験やフィールド調査についてはサラッとしか書かれていない。しかし、実際に栄養の実験を経験した私としてはそこが面白かった。ひとつの実験を少ない人数で実施するには、どのくらいの研究費と時間をかけないとできないか、さらに実験や調査を丁寧に積み重ねて実施するのに必要な膨大な労力、それを想像すると、データをもとに書かれていることが俄然、説得力を持って感じられた。「毎日なぜ食べ過ぎてしまうのだろうか」と疑問に思った人は、一度手に取って読んでみてください。

## ❖「面白さ」はどのようにして生まれるのか！

行實 鉄平(人間健康学部教員)

### 面白いとは何か？ 面白く生きるには？

森 博嗣 著  
ワニブックス

¥830円(税別)

自分が「面白い」と思えるものを見つける(出会える)ことは、豊かな人生(学びの多い生活)を送る上で大切です。しかし、日頃、よく口にする「面白い」という言葉は、そもそもどのような意味で使われるものなのでしょうか？また、この「面白さ」とはどのようなメカニズムで生み出されるものなのでしょうか？

本書では、「可笑しい」、「興味深い」、「意外性」など、いろいろな「面白い」の意味(ジャンル)について紹介や、日々の生活の中で「面白さ」を生み出すためのヒントが多面的に示されています。しかし、本書には、「面白さ」とはこのような手順で作ることができるか、「面白く」生きるにはこうした方がいいといった具体的なノウハウが指南されているわけではありません。それは、「面白さ」が与えられるものではなく、自らが作り出すことに本当の「面白さ」があるからなのでしょう。本書を手に取り、自身の「面白い人生」を創発してみてください。

## ❖自炊はメンドウだというあなたへ。必読です！

富吉 満之(経済学部教員)

### 一汁一菜でよいという提案

土井 善晴 著  
新潮社(新潮文庫)

¥850円(税込)

私は今、留学先のスリランカで、日々、料理をしています。「自炊するなら、おかずを何品も作らないと…。でも面倒だな」と感じている時、ラジオで土井さんの話を聞きました。

「とにかく、ご飯を炊いて具沢山のみそ汁を作れば、それで一日のノルマは達成」

実にシンプル!! それを聞いて、とても気持ちが楽になりました。

そもそも、高度成長期以前は、家庭料理の基本は「一汁一菜」だったようです。「一汁三菜」は、戦後の「栄養学」普及のために取り込まれた概念とのこと。

本書を読むと「目からウロコ」の連続でした。

「一人暮らしでも、自分で料理して食べる、すると自分を大切にできるようになる」「料理することは自立につながる」「一汁一菜を続けるとダイエットにもなる。後から健康もついてくる」「料理をすることは、地球を考えること」

私の「環境科学」の講義内容を、見事に代弁して下さいます。別に、毎日みそ汁でなくとも、洋風スープでも中華スープでもいいでしょう。みなさんも試してみませんか？

## もしこれが自分だったら

小原 崇靖(人間健康学部学生)

### 君の臓をたべたい

住野 よる 著  
双葉社

¥1,400円(税別)

臓の病気を患った山内桜良とたまたま桜良の病気を知ってしまった僕(志賀春樹)との物語。僕しか知らないのも、桜良は僕に残りの時間を一緒に過ごすよう提案します。桜良の病気も悪化し、入院しているが外出許可が1日出たので僕と遊びに行くことになります。しかし待ち合わせの場所に桜良は現れず。僕が帰る途中、ニュースで桜良が通り魔事件に巻き込まれたことを知るのでした。

僕が桜良に最後に送った言葉は、「君の臓を食べたい」でした。それはお互い尊敬しあっていた関係だからこそ言えた言葉。しかし桜良からの返信は無く終わります。そして12年後、僕は桜良の勤め通り教師になるのです。その話を教え子にしている時、僕は12年越しに桜良からの手紙を見つけるのです。

この物語には桜良が言う言葉一つ一つに重みを感じます。余命宣告されている桜良だからこそ、健康な私たちの胸に刺さるのです。今日を精一杯生きようと思えるような作品だと思います。

## あなたの心に感動する一冊の本

庄山 聖夏(文学部学生)

### 余命10年

小坂 流加 著  
文芸社

¥620円(税別)

残り、10年しか生きられない主人公が不治の病にかかり生活をしている中、仕事や恋愛、友達との時間を過ごしていくうちに生きたいと強く思ってしまう。ある日、同級生だった男性と出会い、徐々に惹かれあっていく二人。付き合うことはできたが、その男性は主人公が残り10年しか生きられないことを知らないまま一緒に時を過ごし、どんどん好きが増していく。主人公の病気はどんどん進行し、体は弱っていく一方であった。ついに病気のことを知った男性は別れを切り出されるが本当は二人とも一緒に過ごしたい気持ちでいっぱい。悲しい物語であり、ラストの結末にとっても感動する。

この本は実際に作者の方が病氣と闘いながら書いた小説である。作者は残念ながら、本書が発行される前に亡くなられてしまった。しかし今、本となって読むことができる。この作品を読むことで筆者の気持ちや考え方、そして今生きていることの大切さを改めて実感することができ、今の自分を考え直せる。

主人公と同級生の恋人としての過ごし方や別れの場面にとっても感動する。ぜひ、この二人を特に注目して読んでもらいたいと思う。

## “僕はそうは思わない”子どもの意見表明の大切さ

野田 耕 (人間健康学部教員)

### 逆ソクラテス

伊坂 幸太郎 著  
講談社

¥1,400円 (税別)

私事であるが娘が家を出て行った。進学のために上京したのだ。引っ越しの荷造りの様子を傍らで眺めていると捨てずに残してあったのか、小学生の頃に制作した工作や絵画などが出てきた。断捨離する前にそれらを私の手に取ってみた。涙こそ出なかったものの、当時の彼女のことをつい先日のように思い出していた。

さて、本書の主人公は小学生 (或いは小学生時代) である。5つの短編には、時には教師や大人、社会の勝手な思い込みや通念を否定するかのような子どもの意見や行動が、時には子どもの未成熟な思考への補償が主人公である子どもの立場と目線で描かれている。教師の勝手な決めつけへの逆襲、意地悪なクラスメイトを改心させる行動、犯罪者への眼差しと制圧、機転の利く悪知恵など痛快かつ手に汗を握るストーリーであった。短編5編の構成であるが、これらが僅かに繋がっているところも読者の心を擽るものであった。

最後に保護者の立場から…。物語の中で「お父さんたちも試行錯誤なんだよ」と我が子に子育ての苦心を正直に語った父親の一言が、紙の上での話ではなく著者と同じ年である私の経験とも重なり勇気づけられる言葉であった。

## Have a nice life !

河内 千栄子 (法学部教員)

### 人生教習所

垣根 涼介 著  
中央公論新社

¥1,700円 (税別)

2週間の人生再生セミナーに選抜された28人が父島に渡る。その中には過保護の母から逃げるように参加した休学中の東大生、元ヤクザ、定年退職した男性、フリーライターで陰気な女性などがいる。彼らは毎日、難解な授業、直後のレポート提出というハードなセミナーを受ける。不合格者は即時、島から出ていく。というのも、この厳しいセミナーを終了できたものは希望する職が保証されているからだ。レポートには必ず感想を書くことになっており、それぞれ4人の素性、性格、考え方が明らかになる。徐々に4人が同士となっていく過程が微笑ましく、特に、定年退職した男性が魅力的である。また、父島、母島、そして小笠原諸島の歴史も垣間見られる。「自分のすべてを引き受ける覚悟さえあれば、過去は関係ない。未来も恐れるほどのものではない」。さて4人が手に入れた職業は？同著者による「君たちに明日はない」シリーズと同様に、楽しく一気に読める本だ。

## 赤ちゃんポストを知っていますか？

田中 くみ子(法学部学生)

### 名前のない母子をみつめて

蓮田 太二、柏木 恭典 著  
北大路書房

¥1,800円(税別)

皆さんは「赤ちゃんポスト」を知っていますか？これはさまざまな理由で育てられなくなった赤ちゃんを匿名で保護する施設なのです。日本では熊本県熊本市の慈恵病院のみが設置しています。

賛否両論あるなか、なぜ設置に至ったのか、また赤ちゃんポストの効果やいまだに慈恵病院にしか設置されていないことについて作者の苦悩と共に書かれています。最初に赤ちゃんポストが設置されたのはドイツであり、本書の中でもドイツでの現状や問題点などが日本と比較して書かれ、設置・実施の難しさが細かく説明されています。赤ちゃんを引き渡す母親の多くは誰にも相談できず、病院の検診を受けていない状態で病院外での出産をしてしまい安全に出産することができません。そのような状況下では母親はパニックに陥ってしまい、新生児遺棄や殺害などの事件に発展してしまうことが多々あります。出産した母親が一度冷静になるためにも、赤ちゃんポストは必要な施設であるのです。

## 人生の采配

藤本 晃(人間健康学部学生)

### 采配

落合 博満 著  
ダイヤモンド社

¥1,500円(税別)

野球の采配に関して元プロ野球選手で三冠王に3度、そして監督としても驚異的な成績を残している落合博満さんが書かれた本です。

この本は、表紙を見る限り、野球専門の本のように見えるかもしれませんが、野球に全く興味がない人でも落合さんの将来や社会で生え抜くために大切な心得や重要なポイントなどが書き示されています。

私は、「欠点は直すよりも武器になる」という言葉がとても心に刺さりました。今までネガティブな考えや言い訳ばかりしていた自分を変える一言となりました。

ほかにも多くの名言があり、その言葉には圧倒的な説得力があります。特にリーダーとしての立ち振る舞いや考え方はとても参考になりました。「ミスは責めない」「手抜きは叱る」。広い視野を持っている落合さんだからその考え方や名言です。

ぜひ、この本を手に取り自分の人生をより良いものへと切り開いてみませんか？

## 子どもの叫び声を聞いて

森 友花(人間健康学部学生)

### 学校の先生・SCにも知ってほしい 不登校の子どもに何が必要か

増田 健太郎 著  
慶應義塾大学出版会  
¥2,000円(税別)

近頃、不登校や引きこもりの児童生徒数が増加傾向にある。小学校から中学校に上がる時期の不登校児童数は、小学6年生の時期に比べ約2.8倍である。この中1ギャップへの対応や、不登校の初期段階である遅刻や欠席が増え始める「登校渋り」への対応が重要とされている。著者が伝えたいことは、私たちは子どもの自主性・主体性を「育て育む」ことを意識し、子ども一人ひとりが自立出来るように支援していく事、そして不登校に対する理解と関わり方である。この本では、不登校の時期別対応やいじめの予防、不登校の原因の1つである起立性調節障害について詳しく解説されている。また、不登校児童が示すサインやチェックリストの活用、一人ひとりの生徒に対応したタイプ別の傾向や適切な対応が紹介されている。それらは小学校教師を志す私にとって、将来に活かすことができる内容であった。教育に携わる人や子育てをする人、子どもに関わる全ての人に必読の1冊だ。

## ユージンの住んだMINAMATAを知る

辻本 尚弥(人間健康学部教員)

### MINAMATA

W.ユージン・スミス 著  
クレヴィス  
¥4,400円(税別)

本書は「毒に侵された地域」の侵された側からの記録である。ライフのカメラマンとしてすでに有名になっていたユージン・スミスが、妻のアイリーンと共に水俣の月浦を3年間故郷として生活する中で生まれたものであり、断片的な記録としての意味も持つ写真集である。強烈な印象を受けるのは、いわゆる水俣病を発病した患者を写した写真ではあるが、それ以外に水俣の風景や漁業の仕事の様子など、日常の写真が多く掲載されている。そこにはこの災禍さえなければ、美しい町・漁村として水俣がある。私が印象に残ったのは、チツソの社長や社員など大人の男達ののっぺりと整った顔と対照的に、実子ちゃんやしのぶちゃんなどユージンが「乙女」と表現した女性の艶やかで美しい顔である。それだけになお災禍の凄まじさが浮かび上がり、異様さの差異がより大きくなる。ユージンは「写真はせいぜい小さな声にすぎない」と最後のページに書いてある。しかし、是非一度この本を手にとって読んでみてください。小さな声がいかに力をもっているか実感できます。

## 不思議なオルゴール店へようこそ

森 遥 (文学部学生)

### ありえないほどうるさい オルゴール店

瀧羽 麻子 著  
幻冬舎

¥670円 (税別)

みなさんの心の中にはどんな音楽が流れていますか？北の小さな町にひっそりあるオルゴール店の店主は、「人の心の中に流れている音楽が聞こえる」という不思議な能力を持っています。その不思議な能力を持った店主がいるオルゴール店にやって来る様々な悩みを抱えているお客さんと物語になっています。それぞれの主人公にぴったりの世界にたったひとつだけのオルゴールを作り、今まで忘れていた思いや大切なことに気づかせてくれるだけでなく、一歩踏み出す勇気を与えてくれます。読み進めていくうちにタイトルである「ありえないほどうるさいオルゴール店」の意味も分かってきます。

私はこの本を読んで、自分の心の中に流れている音楽が気になりました。みなさんも読んでいるときっと気になってくるはずです。自分の心の中に流れている音楽や心の声を聞くきっかけにしてみませんか。7つの短編からなっており、読書が苦手な人でも読める作品です。ぜひ手に取って読んでみてください。

## 短くも忘れられない青春の物語

宮田 千浩 (文学部学生)

### 君の臍臓をたべたい

住野 よる 著  
双葉社

¥1,400円 (税別)

友人を作れず、周囲と関わることを避けて生活してきた高校生の主人公は、ある日、「共病文庫」というタイトルの一冊の文庫本を拾う。それはクラスの人気者・山内桜良が綴っていた「秘密の日記」だった。その日記には、彼女が臍臓の病気で余命いくばくもないと書かれてあった。全く接点のなかった2人は日記をきっかけに、関わりを持ち始める。死が近いと思えないほど、天真爛漫に振る舞う桜良に振り回される主人公。しかし、病を患う彼女に、残酷な現実が突きつけられる。

この物語は周囲と関わらないようにしてきた主人公が山内桜良と出会い、残りの余命の中で彼女と関わっていくなかで主人公が精神的に成長していく物語になっていてとても感動的な物語だ。

私はこの小説を読み進めていくごとにとても小説の中に引き込まれそうな内容でとても楽しむことができた。この小説は短くも濃厚な二人の青春を味わえる物語なのでぜひ読んでほしい。

## なぜ全くの別人として生きていかねばならなかったのか？

河内 千栄子(法学部教員)

## ある男

平野 啓一郎 著  
文藝春秋

¥1,600円 (税別)

このタイトルの通り、本書は「ある男」の生きた人生、それも全く別人として生きた男を探し求める話である。弁護士の城戸はこの依頼に自分の在日3世としての人生を重ねながら、ある男を追っていく。小さな手掛かりを基に男の正体を掴もうとするミステリーでもあるが、また自分の生い立ちを含めた社会のさまざまな差別をも語っている。そして徐々にこの秘められた男の生い立ちが見えてくると、読むのが止まらなくなる。話はとても静かに進行し、冷静にも読める。一見暗い話のようだが実におもしろい。著者は法学部出身であるせいか、弁護士の仕事や関係者との面談、そして本書の核心である「戸籍売買、交換」がとても現実的に書かれている。なぜこの男は自分の戸籍を交換したのか、また交換した相手はなぜそれを受け入れたのか。答えはこの本にある。もしこの著者に興味があれば、心温まる恋愛を描いた「マチネの終わりに」もぜひ読んでほしい。

## 異世界

## 捨て犬からセラピー犬へ

葛谷 優菜(人間健康学部学生)

風になった名犬チロリ  
余命3か月・いのちの記録大木 トオル 著  
岩崎書店

¥1,300円 (税別)

この本は、セラピー犬として活躍したチロリの最後の3か月、その命の記録をつづった実話の物語です。捨て犬だったチロリは、団地の子供たちと大木さんに助けられ、新たにセラピードッグとして生きることになります。優秀なセラピードッグだったチロリは、たくさんのお年寄りや不登校になった少年を元気づけ活躍しました。彼女は、14歳になって引退が決まり、あとは静かに余生を過ごすはずが、乳がんが見つかり、余命3か月と宣告されてしまいます。チロリはそれでも立派でした。どんなに痛くても苦しくてもまわりにやさしく思いやりを忘れないという、人間にも簡単にはできないことをやってきました。

私はこの物語を読み、チロリの最後まで周囲の人々を思いやる姿が心に残っています。この作品は、決して弱さを見せず、セラピー犬のリーダーとして他者を思いやり、まわりから愛されたチロリの涙なしでは読めない作品です。ぜひ皆さんも読んでみてください。



## 青少年自殺抑制プロジェクト

西山 晃史(人間健康学部学生)

### スイッチを押すとき

山田 悠介 著  
文芸社

¥1,100円(税別)

山田悠介の「スイッチを押すとき」は過去にドラマ化・映画化もされた作品です。

この作品の中では、自殺を減らす目的で立ち上げられた青少年自殺抑制プロジェクトの様子が描かれています。このプロジェクトは、全国から無造作に選出された子供を高ストレス環境に置き、その精神構造を解明するというものです。選ばれた子供は、全国に点在するセンターに連れていかれ、子供たちに押しと心臓が停止するスイッチを渡し、独房のような施設で過ごさせます。この施設で働いている主人公の洋平は七年間も生きていた子供たちと関わっていくうちに行動を起こします。

この本は、自殺が絶えない世の中に私が違和感をもっていた時に手に取った作品でした。

自殺を減らすために様々な取り組みが行われていますが、私は自殺を減らすために子供を自殺に追い込むのは本末転倒だと思います。このように、本来の目的とそうでないことを取り違えていることは世の中にはたくさんあるのではないのでしょうか。私は、この作品を読むことで、様々な物事に対して本来の目的を見失っていないか考えるようになりました。皆さんもぜひ読んでみてください。

## スマホを落としただけなのに

濱下 碧斗(人間健康学部学生)

### スマホを落としただけなのに

志駕 晃 著  
宝島社

¥650円(税別)

主人公である麻美の彼氏である富田が、タクシーの中でスマホを落としたことが、全ての始まりだった。拾い主の男はスマホを返却するが、その男の正体は凶悪なハッカーだった。待ち受け画面に映っていた麻美を気に入ったハッカーは、富田のスマホを介して麻美の人間関係を監視し始める。拾い主がハッカーとも知らず、普段通り生活する富田と麻美。何かがおかしい、送ってもない写真が拡散され、勝手にメッセージも送られる。スマホがおかしいと気づいたら富田と麻美は、スマホの専門家に相談するが、事態は良くなるどころか悪化していく…

スマホを落としただけでどん底に追い詰めていくハッカーの凄さや、富田と麻美側の視点とハッカー側の視点、どちらも細かく書かれているところがすごく面白いと思えた作品だった。

私はこの本を読んで今の世の中のインターネットの恐ろしさを知り、私もスマートフォンやインターネットをよく使うので、気をつけて使うべきだなと改めて気づくことができた。内容も面白いが、現在の世の中の怖さを教えてくれる本になっていると思う。

## 突然きょうりゅうが学校に!?

高橋 明日香 (人間健康学部学生)

### きょうりゅうが 学校にやってきた

アン・フォーサイス 作/熊谷 鈺司 訳  
金の星社

¥1,100円 (税別)

ある日、いつも通り授業を受けていたトムは窓の外を眺めていると先生の注意が聞こえないくらいびっくりしました。なぜなら、木立のかげから絶滅したはずのきょうりゅうが現れたのです。きょうりゅうは襲ったりすることはなく机で寝始めてしまいました。先生や困った時にいつも助けてくれる用務員のおじさんもお手上げ、なんでもきちんとしているのが好きな校長先生は博物館や動物園に電話をかけて恐竜を始末してほしいと頼みます。しかし、どちらも引き取ることはできないと断られます。きょうりゅうは子どもたちと一緒に食堂に行くと子どもたちがくれたキャベツをたくさん食べたり、片っ端から紙を食べています。きょうりゅうは最終的にどこに行くのか、きょうりゅうがいなくなったら、と子どもたちの心境を考えると感情移入してしまうようなお話です。是非読んでみてください!!

## 夢か、恋か。

佐藤 史弥 (文学部学生)

### 劇場

又吉 直樹 著  
新潮社

¥1,300円 (税別)

2015年お笑い芸人界で衝撃的な出来事が起こった。ピースの又吉直樹が『火花』で芥川賞を受賞したのである。本書『劇場』は、『火花』の次に執筆された作品であり、1人の売れない演出・脚本家の視点から描かれている切ない恋愛小説である。主人公永田は演出家を夢見て、幼馴染と東京で劇団「おろか」を立ち上げるが、うまくいかず、日々途方に暮れていた。そんなある日、女優を目指す沙希に一目惚れする。沙希もまた、女優になるために上京した夢見る1人の少女だった。

この本を読んで私は、欲しい物を両方手にすることの難しさを改めて感じた。永田は、沙希との出会いをきっかけに好転すると思われたが、夢を追うことの難しさによって、沙希も苦しめてしまうことになるからである。それくらい夢を追うことは容易ではないのである。「二兎を追う者は一兎をも得ず」という言葉があるように何もかも上手くいくことは極めて困難であると痛感させられた。それと同時に夢を追うことは人が変わることでできる最大の好機であるということに気づかせてくれた。夢を必死に追いかける永田にあなたもきっと魅了されるだろう。

## ❖ 「普通」とは？

鍋島 竜馬 (経済学部学生)

### コンビニ人間

村田 沙耶香 著  
文藝春秋

¥1,300円 (税別)

主人公の古倉恵子は、コンビニのバイトをはじめて18年目の36歳未婚女性。普通の家に生まれ、普通に愛されて育った彼女は、幼い頃から少し奇妙がられる子供だった。ある日、婚活目的の男性、白羽が新人アルバイトとしてやってきたことで彼女の人生が一気に動き出す。

第155回芥川龍之介賞受賞作である本書はわずか151ページではあるが、そこには濃密な物語が詰まっている。冒頭だけを読むと「なんだ、コンビニエンスストアで働いている人の物語か」と思い、読むのをやめる人もいるかもしれない。しかし、もう少し読み進めて欲しい。瞬く間に「コンビニ人間」の世界に引き込まれるはずなのだから。

ファッションも話し方も表情でさえも他人をまねしてでないと生活できない彼女が、「普通」になるために「普通」を演じるがそれはほんとに「普通」なのか。ハッピーエンドともバッドエンドともいえない釈然としないところがかえって心地良い。「普通」とはいったい何だろう、と考えさせられる至極の1冊である。

学び

生き方

異世界

## ❖ 日本人留学生Hiroが大活躍のミステリー！

河内 千栄子 (法学部教員)

### Berlin Express

Michael Austen 著  
Cambridge University Press & Assessment

¥634円 (税別)

主人公はイギリスに留学中の日本人留学生のヒロ。失恋の痛手とともにユーレイルパスで淋しいヨーロッパ人旅。ベルリン行きの列車に同席した男性のスマホのメールを偶然見てしまうことから怪しげな事件にかかわることになる。そのメールには何か深刻な事件を匂わせる内容で、この男の正体を恐れながらどうにか彼から逃れてベルリンに到着。メールの内容が気になって仕方がないヒロは警察に通報するも無視される。結局、勇気を出してメールに書かれたブランデンブルグ門やホテルに行って男を探そうとするのだが…。さてその男の正体は？ともかく面白い！時々、失恋相手を思い出しながら恐る恐る行動する彼を読者はとても身近に感じるでしょう。英語が好きな人、留学を考えている人、ミステリーが好きな人におススメ。これらの本は英語学習者向けに書かれたもので初級から上級まで全部で2000冊近くあります。面白そうな、易しそうなものから手に取ってみましょう。

心の旅

ウェブサイトを活用して  
図書館の達人になろう

## 私たちの原風景

森元 蓮太(文学部学生)

新編日本古典文学全集 11  
古今和歌集紀貫之他撰 著/小沢正夫、松田成穂 校注・訳  
小学館

¥4,457円(税別)

「やまとうたは、人の心を種として、万の言の葉とぞなれりける。」(本書「仮名序」より引用)  
上の言葉は、編者の一人である紀貫之の言葉です。私たちの祖先は、スサノオノミコトよりこの方、天に舞う鶯、地に伝う小夜時雨。或いは、錦に暮れゆく山際の、水面に映る秋の色といったような美しい情景や、繊細な人の情といったものを三十余り一文字の言葉で織り上げてきました。そして、こうして織り上げられた言葉の世界は、容易に読み手へとその情景を想像させ、開墾と開発、汚染と工業化が進む無機質で効率化された社会を生きる私たちを懐古の念へと誘います。

私は本書を読み、改めて身近な風景に目を向けました。すると、草木に木霊する虫の音や花橘の香りなど、以前は素通りしていた何気ない日常にある美に改めて気づかされました。そして、私たちの祖先もまた、こうした美を日常に見出していたのかなと思うと、なんだか今と昔が重なったようで嬉しくなります。

みなさんも本書を通じて今一度、私たちの日常の美に目を向けてみませんか。

## 日本語の美しさに触れる

寺中 琴音(文学部学生)

日本の大和言葉を美しく話す  
一心が通じる和の表現高橋 こうじ 著  
東邦出版

¥1,400円(税別)

外来語や略語、インターネット用語など、多くの言葉に溢れかえっている現代。あなたは日本語についてどこまで知っていますか。

この本では大和言葉について紹介しています。3種類ある日本語の単語の内の一つです。日本語は漢語、外来語、大和言葉に分類することができます。大和言葉とは、太古の昔に日本人の祖先が創り出した日本固有の言葉です。この本では「ふるさと」や「日和」など身近な言葉から、「うてな」や「橋涼み」など、日常生活ではあまり馴染みのない言葉まで収録されています。読んで楽しむだけでなく、会話やスピーチ、手紙やメールにも生かすことができます。

言葉というものは流動性のあるもので、今使っている言葉がこれからも使い続けられるかはわかりません。あなたが今使っている言葉はこれからも続くものですか。大和言葉は長く用いられ、愛されてきた言葉です。この本を読み、日本語の美しさに改めて触れてみてはいかがでしょうか。

## 彼女と主人公の5年をかけた青春物語

岩尾 日菜子(文学部学生)

### 明け方の若者たち

カセツ マサヒコ 著  
幻冬舎

¥1,400円(税別)

「私と飲んだ方が楽しいかもよ?笑」この言葉から彼女と主人公の物語が始まります。彼女と出会ったことで退屈だった日々が動きはじめる、5年間を描く青春物語です。大学のとあるイベントで彼女に出会った主人公は「楽しいことは全部やろう」という彼女の言葉から夜の公園で缶ビールを飲んだり舞台を見に行ったりします。主人公はそんな彼女にだんだん惹かれはじめ、彼女のためにひとり暮らしまで始めてしまいます。しかしそんな楽しい時間もつかの間、社会人となった主人公は自分のやりたかった仕事とは程遠い人生に「こんなはずじゃなかった」とおもうようになっていくのです。

この本を読んで、青春時代がどれだけ輝いていて、どれほど貴重な時間であるのか多く感じることができました。また、いつかこの関係が終わることをわかっている、主人公と彼女の物語から今を精いっぱい楽しむことの大切さに沢山気が付くことができました。懐かしい気持ちや思い出に深く残る青春時代を送りたいと思わせてくれる作品です。

学び

生き方

異世界

## 「人を愛する」とはどのようなことなのか

佐々木 りん(法学部学生)

### ノルウェイの森(上)(下)

村上 春樹 著  
講談社

各¥1,400円(税別)

あなたは本気で人を愛したいと思ったことがあるだろうか。

この物語は「ワタナベ」という一人の男性が、彼の周りの友人や愛する人と過ごした過去を語っている。葛藤、苦しみ、笑い、そして深く愛し合うことで時には不本意ながら相手を傷つけてしまうことがあり、また時には互いに人として成長することもある。

物語の主な舞台は大学である。私自身、大学生活を送りながらこの本と出会ったことで今自分に流れている時間や周りの人たちの存在を敏感に捉えるようになった。この本からは一言では言い表せないくらい複雑で心を動かされる青春が感じられる。正に究極の純愛ラブストーリーだ。それと共に物語の中の人物たちが直面する「生」と「死」の存在についてどうしようもなく考えさせられる。

筆者、村上春樹による繊細でどこか強く引き込まれてしまうような文体が、より読者に物語の世界を鮮やかに感じさせる。上、下の2冊を読み終えた後にあなた自身にどのような感情や景色が残されるのか、是非楽しみに手に取って読んでいただきたい。

心の旅

ウェブサイトを活用して  
図書館の達人になろう

## 猫のお告げが導く、心温まる物語

海崎 樹(文学部学生)

### 猫のお告げは樹の下で

青山 美智子 著  
宝島社

¥700円(税別)

皆さんは今、何か悩み事を抱えていますか？時には誰にも相談できずに、深い悩みの世界に入ってしまうことがあるかもしれません。

この本は、そんな悩みを抱えた7人の登場人物が、ふと立ち寄った神社で、1匹の猫と出会うお話です。お尻に星のマークの付いた猫、「ミクジ」は、思い悩む彼らに葉っぱでお告げを示します。しかし、それは悩みを解決するための答えではありません。あくまでもお告げはきっかけに過ぎず、あとは自分自身と向き合いながら解決の糸口を見つけていく、そんなことを教えてくれるものでした。思い悩んだ先に答えを見つけたとき、ミクジに導かれた人たちの世界は、ガラッと変わっていきます。

この作品は、優しい言葉と文章に、読むたびに何だか気持ちがほっこりする、そんなお話の詰まった連作短編集です。少しでも躓いたりして、立ち止まってしまったときには、ぜひこの作品を読んでみてください。明日からの景色が、ほんの少しだけ変わるかもしれません。

## 複雑な家庭の裏にある感動の物語

松隈 あずさ(文学部学生)

### そして、バトンは渡された

瀬尾 まいこ 著  
文藝春秋

¥740円(税別)

高校3年生、17歳の森宮優子は幼いころに実母を亡くし、血の繋がらない親に育てられた。優子には父親が3人、母親が2人、苗字は4回変わり、複雑な環境の中、義理の父親と2人で暮らしていたが、不遇な環境にも拘わらずいつも笑顔だった。そんなある日、父親が同窓会で再婚した女性梨花と再婚する。梨花は優子をとても可愛がり、愛情を注いで育てていたが彼女にはある秘密があり優子の前から姿を消すことに…。

私は最初のほうでは、つらい思いをしているにも拘わらず、笑顔をたやさない優子の前から急に去った母親の梨花に怒りの感情があった。それが読んでいくうちに家族の大切さや秘密を隠す梨花の気持ちにも共感する部分が増えていった。私も人との関わり方や接し方に注意していこうと思うようになった。また、友人関係の難しさや、恋愛など、学生である私達もこの本の登場人物の感情から自分と比較したり、共感することができる一冊である。ぜひ手に取って欲しいと思う。

## ❖ SNS で出会った失語症の少女と視覚障がい者の少年

松藤 優翔 (文学部学生)

### きみの声を聞かせて

小手鞠 るい 著  
偕成社

¥1,400円 (税別)

心理的要因で声が出なくなった日本に住む中学生の少女「一枚の木の葉」(星野葉香)と、視覚障がい者であるピアノ弾きでアメリカに住む高校生の少年「海を渡る風」(大崎海渡)の二人が、SNSを通じて出会い、音楽と詩を送り合い、次第に心を通じ合わせていく物語である。

ある日、葉香はSNSである一つのアカウントと出会う。それは、「海を渡る風」海渡のアカウントだった。海渡のアカウントの投稿には、オリジナルのピアノの独奏が投稿されていた。不思議と惹かれた葉香は感想として詩を海渡に送った。ここから、葉香と海渡の地球通信が始まる。葉香が詩を送り、海渡が音楽にする。やり取りを繰り返すうちに、お互いに生きる勇氣になっていく。日本で行われた海渡のコンサートで葉香は詩を朗読できたのだろうか。

私は、心が落ちこんでしまった時に、音楽や文学から励まされたり、気持ちを落ちつかせてもらったことが何度もあった。

この本は、そうした音楽や文学の持つ力を再確認させられる素敵な一冊である。

## ❖ 新入生のあなたにぴったりの青春小説！

河内 千栄子 (法学部教員)

### 青が散る(上)(下)

宮本 輝 著  
文藝春秋

各¥640円 (税別)

新設大学でテニス部を始めることになった金子と燎平を中心とした若者の物語である。弱小テニス部を舞台に、日々のハードな練習、過酷な合宿、友情、初恋、失恋、悩み、友の自死、孤独、切なさ、ひたむきさを通して青春の光が描かれる。どの世代が読んでも楽しむことができるのは、何といっても会話が軽やかな大阪弁であるからに違いない。「何のために生まれてきたんか」との燎平の問いに「それが分からんために4年間足踏みしてるわけや」と応える金子。やたらに詳しいテニスの試合の緊迫した描写は、著者のあとがきから判明する。新設大学でテニス三昧の学生生活であったとのこと。テニス以外にも、単位を落とした先生との交流、単位不足で留年の危機など、身近な話題も挿入される。すばらしい解説は森絵都によるもので、彼女の小説「カラフル」にも通じる。大学生活を始める新入生には、これからの4年間をまず図書館の本と一緒に始めてほしい。

# 御井図書館の利用について

## 開館時間

	曜 日	開館時間
授業期間・試験期間	月曜日～金曜日	8:45～21:00
	土曜日・日曜日	9:00～17:00
長期休暇期間	月曜日～金曜日 土曜日・日曜日	9:00～17:00

※長期休暇期間とは、学生の夏季・冬季・春季休暇期間を指します。

※500号館地下書庫は、授業期間の平日は18:30、土曜日・日曜日は16:00まで利用可能です。

〈休館日〉 国民の祝日、お盆休み、年末年始

※開館時間の変更・臨時休館については、ホームページにてお知らせします。

## 貸 出

借りたい図書と「学生証」を1階の貸出・返却カウンターへお持ちください。

※延滞資料が1冊でもある場合は、新規の貸出ができません。

	貸出冊数	貸出期間
学部学生	10冊	14日以内
大学院生	20冊	1ヶ月以内

## 返 却

借った図書は期限内に貸出・返却カウンターへ返却してください。

延滞した場合は、延滞日数によって貸出停止のペナルティが科せられます。

※図書館が閉館しているときは、正面玄関横の「ブックポスト」へ返却してください。

久留米大学御井図書館

知の玉手箱 2023

発行：久留米大学 御井図書館

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635 TEL0942-44-4015

©Mii Library of Kurume University 2023 Printed in Japan